

新潟市 秋葉区 農業委員会だより

第 49 号

令和 2 年 6 月 1 日

編 集 ・ 発 行

新潟市秋葉区農業委員会
電話(0250)25-5525



ぼたんの花（撮影場所 新潟県立植物園）

内 容

秋葉区内の農地移動の概要

三月に開催された農業委員会定期総会で令和元年度の事業報告が承認されました。

この中から、秋葉区内の農地移動の概要等について、その一部を掲載します。

*

「第一回秋葉区女性農業者のつどい」での質問への回答

昨年十一月に開催された右記「つどい」で質問あった案件について新潟農業普及指導センター普及指導員の方からご回答いただきましたのでお知らせします。

*

委員のリレートーク

今回は、伊藤農業委員と須佐農地利用最適化委員が委員活動を通じて普段感じていることをお話しします。

秋葉区内の農地移動等の概要

○農地の移動

＜農地法による移動＞

(平成31年1月～令和元年12月)

区 分		件 数	面 積(a)
法第3条許可	所 有 権	—	—
	賃 貸 借	—	—
	使 用 賃 借	—	—
	小 計	—	—
転 用	法第4条許可	1	15
	法第4条届出	3	8
	法第5条許可	15	130
	法第5条届出	49	205
	許可届出以外	0	0
	小 計	68	358
法第18条賃貸借解除		215	8,217
合 計		283	8,575

*参考 法第3条市長許可分

区 分		件 数	面 積(a)
法第3条	所 有 権	20	342
	賃 貸 借	—	—
	使 用 賃 借	6	1,121



＜農業経営基盤強化促進法による農地流動化実績＞

(平成31年1月～令和元年12月)

権利の種類		田 (㎡)	畑 (㎡)	計	
				件 数	面 積(㎡)
賃貸借契約	契約期間3年	396,171	6,492	87	402,663
	契約期間6年	634,748	10,625	99	645,373
	契約期間10年	2,070,152	66,267	412	2,136,419
	小 計	3,101,071	83,384	598	3,184,455
所有権移転		114,882	5,766	31	120,648

*農地中間管理機構が借受けた件数、面積及び貸付けた件数・面積は除く

○農地の集積率

＜認定農業者の農地集積率＞

(暦年、面積単位：ha、集積率単位：%)

年	認定農業者数	認定農業者対象農地 面積(A)	秋葉区農委区域内農地 面積(B)	認定農業者農地集積率 (C = A/B × 100)
平成30	521	2,646.6	3,490	75.83
令和元	505	2,697.7	3,490	77.30

*秋葉区農委区域内農地面積は2015農林業センサス

7・8月は農地パトロール月間です(重点事項は4点)

- ① 遊休農地の実態把握と是正指導
- ② 農地の違反転用の早期発見と是正指導
- ③ 相続税・贈与税の特例適用農地の営農状況等の調査・確認
- ④ 農地への不法投棄の早期発見と是正指導



「第1回秋葉区女性農業者のつどい」での質問への回答

2019年11月13日に開催された「第1回秋葉区女性農業者のつどい」で質問のあった下記質問案件について、新潟農業普及指導センターの普及指導員 森田明日美さんからご回答いただきましたのでお知らせします。

質問1 はくさいに小さい黒い虫がたくさんついている。虫の名前と対策について教えて欲しい。

回答1 はくさいを食害する小さい黒い虫ですが、アブラムシ、カブラハバチ、ダイコンサルハムシが考えられます。対策として、アブラムシ用に銀色のマルチを使用する、除草し害虫の発生源を減らす等の耕種的防除を行うとともに、それぞれの害虫に登録のある農薬を散布してください。

(1) アブラムシ

被害：青汁を吸い生育を停滞させる。モザイク病の原因となる。

(2) カブラハバチ

被害：幼虫が各種アブラナ科野菜の葉を食害する。幼虫は初め葉裏から葉に孔を開け、成長すると葉縁から食害する。

(3) ダイコンサルハムシ

被害：成・幼虫がアブラナ科野菜の葉を食害する。発生の多い時には葉脈だけ残し、網目状にほとんど食い尽くす。そのため幼植物は枯れることもある。秋まきのはくさい、ツケナ類、だいこん、かぶ、アブラナ科雑草で発生加害が多い。



アブラムシ成虫



カブラハバチ幼虫



ダイコンサルハムシの幼虫

写真の出典：HP 埼玉の農作物病害虫写真集

質問2 小さいカタツムリが多発している。カタツムリに効く薬剤は何か。

回答2 野菜では適用作物がキャベツ、レタス、非結球レタスに限られますが、カタツムリに登録のある農薬も販売されています。農協等の農薬販売店でご確認ください。

質問3 ネギでヨトウムシが多発している。定植時に粒剤を散布しているが、あまり効いてないようだ。他に薬剤があるのか？

回答3 定植時に土壌混和して使う粒剤は、タネバエやコガネムシ類幼虫などの土壌中に生息する害虫に対して有効で、ヨトウムシの防除には異なる農薬の使用が必要となります。ヨトウムシに登録のある農薬は各メーカーから販売されていますので、農協等の農薬販売店でご確認ください。

農薬を使用する時は、農薬のラベルをよく読み、使用方法を必ず確認しましょう

委員のリレートーク



農業委員
伊藤 君雄

昨年四月より農業委員になり、一年が経ちました。毎月の定例総会、農地部会と、全りが初めての経験で戸惑うことばかりでしたが、少しずつ慣れてきたところですよ。

さて、田植え作業も終わりましたが、今年は新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言が発令され、色々なことが自粛されています。せっかくのゴールデンウィークを自宅で過ごした方も多いと思います。関東圏の友人からは、「自宅にいる時間が長いので、お米の消費が増えている。ぜひ、米を送って欲しい。」と連絡がありました。米の個人消費が上がるのは良いことですが、外食

産業用の米の消費低下が懸念されます。今年の米価が気になるところです。

今年、私の集落では、農業法人が設立されました。集落宮農からの法人化です。もともと、一つ法人がありましたので、これで二つ目となります。このような法人組織は、農業者の高齢化、後継者不足を補うために重要な存在であると考えます。

今後は、法人組織や大規模農家が効率よく作業できるように、農地の集積や集約化、並びに、基盤整備が益々必要になってくると思います。私も、農業委員として少しでも地域に貢献できればと思っています。



農地利用
最適化推進委員
須佐 馨

場での活動、②農地利用の集積・集約化のための出し手、受け手へのアプローチ及びそれに伴う地域農業者の話し合いの推進活動です。

私の担当地区は、旧小須戸町の横水地区です。

担当地区で遊休化している又は遊休化のおそれのある農地がありましたが、農業委員と連携し当該農地の所有者へ是正指導を行った結果、所有者の理解を得て、改善又は改善に向けた方向に結び付けることができました。今後も普段から担当地区内の状況を把握し、毎年、定期的に行われている農地パトロール等を通じて、軽微なうちに問題を解決できるように努めていきます。

農地利用の集積・集約化ですが、政府は農業の競争力を強化するため、二〇二三年度までに中核農業者である「担い手」に八割の農地を集積する方針です。ちなみに、私の担当地区では、農事組合法人や専業農家もいますが、多くは稲作中心の兼業農家で、なかなか集積が進んでいないのが現状です。一部法人や専業農家は、集落内及び集落をまたいで集積し農地を拡大していますが、今後と

も機会あるごとに話し合いを進め、人・農地プランの実質化を支援するとともに農地中間管理事業等を活用した集積・集約を促進したいと思えます。

農業関係の研修等で、私が感じたことは、今の農業の一番の問題点は、後継者不足にあると思います。次の世代に喜んで農業を継承し、豊かな生活をしてもらいたい。それには、担当地区の一部で進めている圃場整備事業も含め、作業効率の良い生産性が上がる農業環境の整備が急務だと考えています。

今後とも、農家の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

全国農業新聞

- 発行日：毎週金曜日（月4回）
- 購読料：1ヵ月700円（税込み）
- 申込み：秋葉区農業委員会事務局まで